

稲沢市観光基本計画策定 にあたってのヒアリング調査

調査ご協力をお願い

稲沢市では、平成20年3月に「稲沢市観光基本計画」を策定し、稲沢市の特色を活かした観光事業を推進してきました。この計画期間である10年間で平成29年度で終了するにあたり、現在、次期計画の策定を進めています。

この調査は、稲沢市の観光に、日頃から関わられている皆さまや地元企業・事業者・団体の方より、観光における現状や課題、今後の方向性・連携方策等についてお伺いし、計画策定と今後の観光推進体制づくりの基礎資料として活用させていただくものです。本調査への記入について、お手数ですがご協力をお願いします。

※各項目に関連する補足資料がありましたら、添付をお願いします。

企業・事業者・団体名			
記入者氏名		記入者の 役職等	
連絡先 電話番号		連絡先 FAX番号	
E-mail	@		

調査に関する問合せ先

稲沢市経済環境部商工観光課

電話：0587-32-1332（ダイヤルイン）

fax：0587-32-1240

e-mail：shoko@city.inazawa.aichi.jp

(1) あなたが考える稲沢市における観光の現状と課題についてお書きください。

--

(2) あなたが考える稲沢市の観光における「強み」「弱み」についてお書きください。

強み (例)伝統的な祭りがある 等	弱み (例)宿泊施設が少ない 等

(3) あなたが現在行っている観光に関する取組があれば具体的にお書きください。

--

- (4) あなたが現在行っている観光に関する取組の中で、行政（国・愛知県・市町村）、他の企業・事業者、団体等と連携して行っている実績があればそれぞれお書きください。また、今後の連携に関するアイデアがあれば合わせてお書きください。

	内容
行政	
企業・事業者	
団体	
その他	

- (5) 今後、稲沢市が観光まちづくり※を進めていくにあたり、アイデアや意見があれば具体的にお書きください。

※観光まちづくり：観光を広くまちづくりのために活用して地域の活性化や課題解決を目指す考え方をいう。（☛ 詳細は次ページを参照）

- (6) その他、稲沢市の観光についてご意見があれば、ご自由にお書きください。

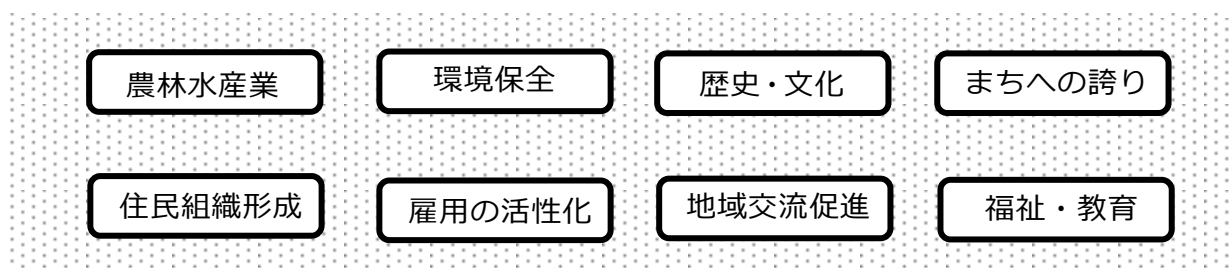
調査にご協力いただき、ありがとうございました。

稲沢市の目指す「観光まちづくり」について

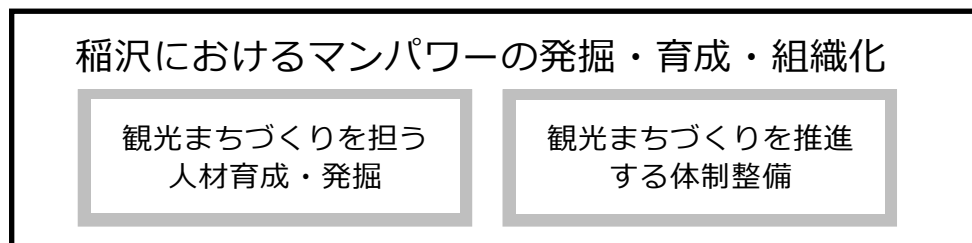
現在、地方創生の取り組み等により、日本全国の自治体が観光振興やシティプロモーションに力を入れています。その一方で、収益や集客を目的とした観光施設の設置や誘客イベントにも継続性や費用対効果の面で、限界が出てきています。また、先進事例を模倣した観光メニューが開発され、日本全国で似た観光地が増えていることから、その土地ならではの魅力が失われてしまう「観光の地域離れ」が進んでいます。

そのような状況の中、従来の観光とは異なる新たな観光が生まれています。稲沢市では「観光のために何ができるか」から、「まちづくりのために観光を活用し、何ができるか」という視点に着目した観光まちづくりを進めていきます。

■観光まちづくりのイメージ



観光を通じて、多様な分野や地域資源を再発掘！再認識！



“観光”で稲沢を元気に！

■稲沢市の主な観光資源（国府宮はだか祭・性海寺のあじさい・祖父江のイチョウ黄葉・荻須記念美術館）

